

『伊賀市史』第2巻 通史編 近世 目次

<b>第一章 藤堂藩の成立と伊賀</b>	<b>第六章 人とモノの流れ</b>
第一節 藤堂高虎の伊賀入封	第一節 街道と宿場
第二節 伊賀統治のはじまりと藤堂采女家	第二節 旅と巡礼
第三節 城和領支配	第三節 生業と生産
<b>第二章 藩政の展開と家臣</b>	<b>第七章 寺社と人びとの信仰</b>
第一節 藩政の動向	第一節 近世伊賀の宗教
第二節 家臣団と統治機構	第二節 寺院と社会
第三節 伊賀付家臣の生活	第三節 神社と祭祀
<b>第三章 伊賀者と無足人</b>	<b>第八章 人びとの教養と文化</b>
第一節 伊賀者	第一節 学びの世界
第二節 無足人と地域社会	第二節 俳諧と心学
<b>第四章 藩政下の村と城下町</b>	第三節 記録と出版
第一節 伊賀の村落	第四節 人びとの楽しみと文化
第二節 城下町上野	<b>第九章 幕末維新の伊賀</b>
第三節 被差別民の役割と暮らし	第一節 藤堂藩の政治動向と世相
<b>第五章 地域をとりまく諸相</b>	第二節 幕末の争乱と伊賀
第一節 自然の利用と山論・水論	第三節 天皇陵の修復事業と北浦定政
第二節 国境争論	第四節 藤堂藩の維新
第三節 安政伊賀地震	